

## 「相手を思いやり、目を合わせて挨拶できる子の育成」

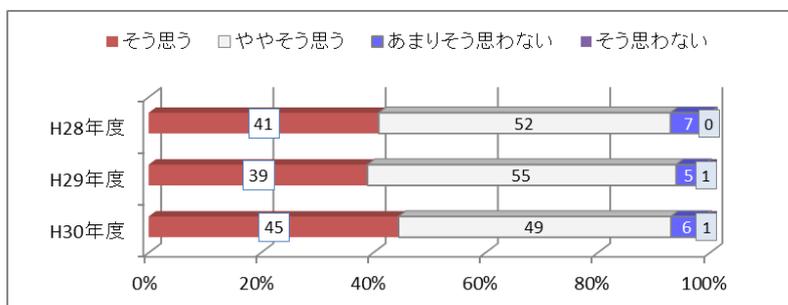
【重点目標実現のための三者（学校・家庭・地域）の働き掛け <改善活動>】

| 学校の取組   | 家庭の取組   | 地域の取組   |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◆対話的な学びの場を設定する。</li> <li>◆挨拶運動を推進し、異年齢集団での取組を活発に行う。また、自己評価と改善の機会をつくる。</li> <li>◆学習や行事等、小中や地域の連携の機会を充実させ、挨拶ができる関係・環境づくりを進める。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆家庭内の挨拶は、目を合わせて挨拶できるようにする。</li> <li>◆言葉と心がつながる挨拶や言葉遣いを働き掛ける。<br/>「ありがとう」「ごめんなさい」</li> <li>◆子供の考えを最後まで丁寧に聞き、受容体験の機会をつくる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆挨拶ができる関係・環境づくりを推進する。</li> <li>◆登下校時や行事等では、積極的に児童に挨拶し、話し掛ける。</li> <li>◆児童の挨拶や受け答えが上手にできたときは、できた行動を認め、励まし、褒める。</li> </ul> |

### ★協働型学校評価に関して【学校の分析と考察】

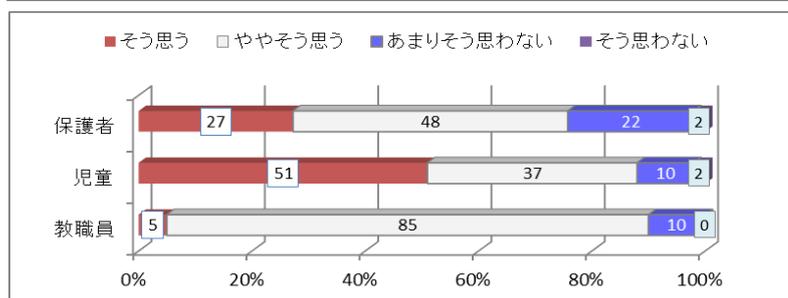
#### ◆1【合言葉について】

- ・学校では、「笑顔・チャレンジ・思いやり」の取組を積極的に実施している。（保護者回答）



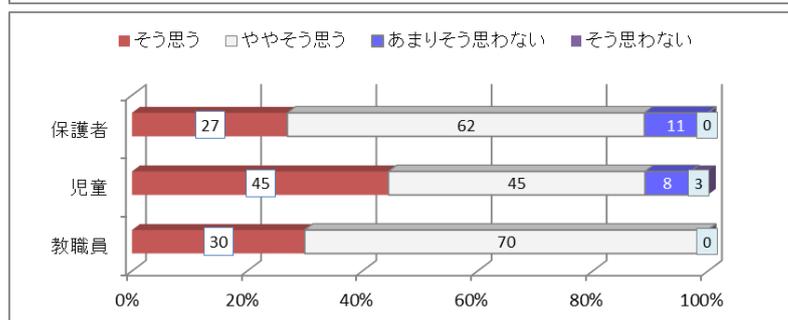
#### ◆2【挨拶について】

- ・子供たちは、いつも笑顔で挨拶ができている。（保護者，教職員回答）
- ・私は、いつも笑顔であいさつをしている。（児童回答）



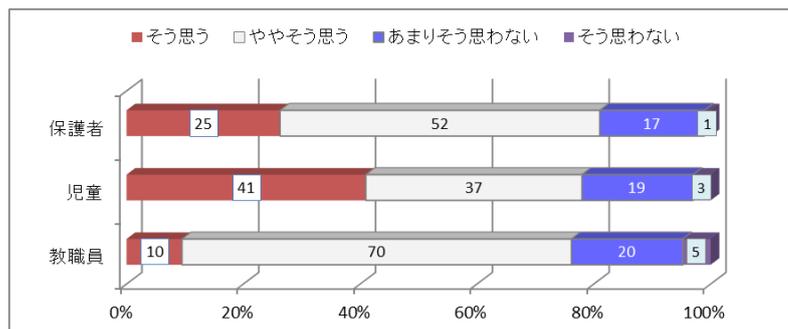
#### ◆3【親切について】

- ・子供たちは、友達に対して親切である。（保護者，教職員回答）
- ・私は、まわりの友達に対して、親切にしている。（児童回答）



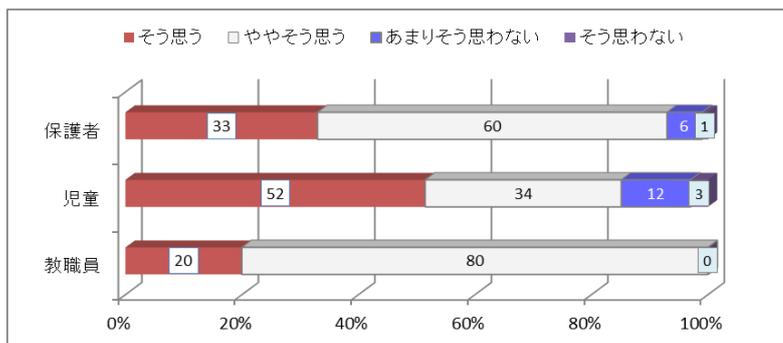
#### ◆4【地域の一員としての自覚について】

- ・子供たちは、友達や地域の方と積極的に関わり、地域の一員としての自覚をもっている。（保護者，教職員回答）
- ・私は、自分から進んで友達や地域の方々とは活動しようとしている。（児童回答）



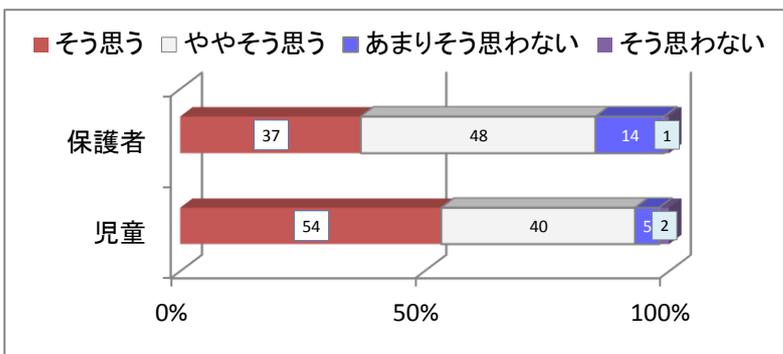
### ◆5【粘り強さについて】

- ・子供たちは、目標に向かって最後まで粘り強く取り組んでいる。  
(保護者、教職員回答)
- ・私は、難しい勉強でも、最後まで粘り強く取り組んでいる。(児童回答)



### ◆6【言葉遣いについて】

- ・言葉と心がつながる挨拶や言葉遣いができている。  
(「ありがとう」「ごめんなさい」など)  
(保護者 児童回答)



- 開校以来の合言葉である「笑顔・チャレンジ・思いやり」の取組に関しては、「そう思う」「ややそう思う」と回答した保護者の方は、3年間ともに9割を超えています。教育活動における3つの合言葉は定着していることがうかがえます。学校生活の中で、3つのキーワードをもっと意識できるように指導・支援を行い、子供たちへ達成感や成就感を与えていきたいと考えます。
- 「目を合わせて挨拶」に関しては、子供たちの自己評価では、肯定的意見の割合が高いものの、保護者や教職員のアンケートの中には、まだ身に付いていないのではないかと意見が多数出ております。「挨拶がなぜ大事なのか」ということを子供たちに深く考えさせる機会が必要であると痛感しております。今年度は、異年齢集団での活動回数を増やしたり、地域の皆様とかかわる機会を工夫したりすることで、挨拶ができる関係・環境づくりが進み、季節が移り変わるごとに挨拶の積極性が高まると実感しております。その活動のねらいと実施後の振り返りをしっかり行いながら、挨拶の大切さを味わわせ、習慣化につなげていきたいと思っております。
- 「友達に対して親切かどうか」という問いに関しては、「そう思う」「ややそう思う」という肯定的な意見が多数を占めました。一定の成果は見られるものの「思いやり」と同様に「親切にする」というのはどういうことなのか、普段の生活の中で、学校・保護者・地域がそれぞれの立場で、子供たちに具体的に話して聞かせながら、相手の立場に立って行動できる子供に育てていきたいと考えております。
- 「友達や地域の方々との関わり」「地域の一員としての自覚」に関しては、肯定的に捉えている保護者、児童の割合が多いものの、まだ不十分であると答えた方の割合も、他の項目に比べて高いという結果となりました。特に、地域の方々とのふれあいや交流は、思いやりの心や尊厳・感謝の心の育成につながり、子供たちの社会性を高めるためにも必要なことであると言えます。地域の方々のご協力を得ながら、学校以外の方々とかかわる機会を増やす努力をしていかなければならないと考えております。
- 「粘り強さ」「根気」に関しては、肯定的に捉えている児童の割合が高いものの、1割弱の保護者の方はまだまだ不十分であると回答しています。児童の状況を的確に捉え、その段階に合った課題を与えること、頑張っている子に対しての温かい声かけを行い、伸びを認めてあげること、諦めそうになっている子への励ましを適切に行うことが重要であると言えます。
- 「言葉遣い」に関しては、肯定的に捉えている保護者、児童の割合が多いものの、保護者はまだ不十分であると答えた方の割合も、少なくありません。子供の実態として、「ごめんなさい」と素直に謝ることができず、自己防衛してしまう傾向が見られます。勇気と誠実さを育て、相手の立場に立って行動できる子供に育てていきたいと考えております。

## 《自由記述欄に寄せられた保護者のご意見》

- ・毎日校長先生が校門に立ち、笑顔で挨拶して出迎えてくださるおかげで、気持ちのよい一日をスタートさせているようです。
- ・子供たちにこちらから声を掛ければ挨拶できる子もいるが、自発的に挨拶できる子は少ない印象がある。(お迎えに行ったとき等を感じる)
- ・基本である「挨拶」に関しては、できる子とできない子の差があり、挨拶を返してくれない子が半数ほどいると思います。地域によっては、知らない人に対しても元気よく、大きな声で挨拶してくれるところもあります。
- ・日頃より子供たちのことを丁寧にみていただき、感謝しております。普段、子供と関わる時間が短く、宿題や翌日の準備に人一倍時間がかかり、元々口数が少ないため、ゆっくりと学校の様子や友達のことを聞くことが少ないと反省しております。
- ・「笑顔・チャレンジ・思いやり」を、どんな時に頑張ればよいか分からないと言っていました(我が家の子が気にしていないだけなのかもしれませんが・・・)。テーマを意識できるような取組がもっとあるとよいのかと思いました。また、地域と子供たちのつながりはあまりないと感じます。子供会の活動も少ないし、近所の人とも顔もあまり分からないので、防犯につながるよう、学校と地域の人と子供たちと一緒に活動する事がいろいろあるとよいのではと思います。
- ・学校と家庭の連携をしっかりと考えなければと思っております。
- ・日頃より子供たちを丁寧にみていただき感謝しております。普段子供と関わる時間が短く、学校での様子をゆっくり聞く時間がなく、反省しております。子供自身は、学校生活を楽しんでいるようで安心しております。

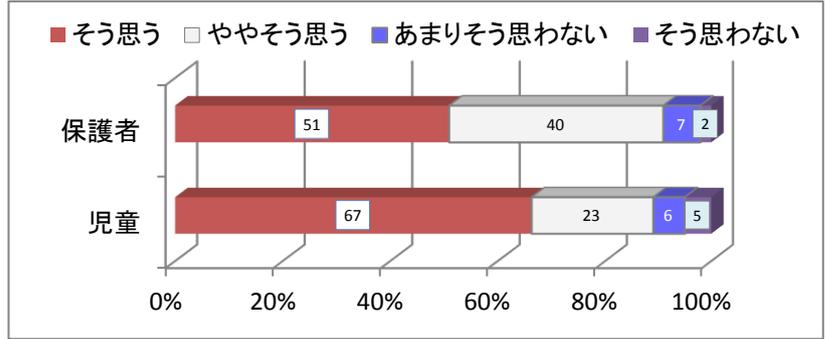
## 《第3回学校関係者評価委員会の皆様からのご意見》

- 子供たちの挨拶は、少しずつよくなっている。毎日、大人自らが挨拶を実践すること、声を掛けることが大切である。こちらから声を掛けると、私のマスク姿を見て「かぜをひいたのですか？」と、声を掛けてくれる心遣いのできる子や、落ちているゴミ拾って帰る目配りができる子が育ってきている。
- 松陵中学校の保護者説明会に参加した6年生は、大変立派な態度だった。アンケートの評価やご意見では、挨拶が「できる」、「できない」の極端な評価傾向になりがちだと感じる。個々の発達段階に合わせ、挨拶の変容、プロセスをもっと認める・褒めることが大切だと思う。
- 大人から目を見て、心と体を向け、進んで挨拶していくことが大切であると思う。自分の挨拶の仕方、大人もできているか振り返る必要がある。
- 個の成長に応じて、声の大きさや体調によっても挨拶の仕方は変化がある。大人が気にかけて対応すること、認め・褒めることが大切である。会話の内容が、単語だけで話していた子が、少しずつ文で話すようになり、心を開き話せるように成長してきている。取組を継続することも大切である。
- 挨拶ができる、できないという差があるわけではない。人それぞれ違いがあるという見方が必要である。挨拶できない子へ挨拶しなさいと言うばかりでなく、大人が寛容な目で見守る、育てることが大切である。烙印を押すような評価をしてはいけない。

★ 学校生活、家庭生活に関して【学校の分析と考察】

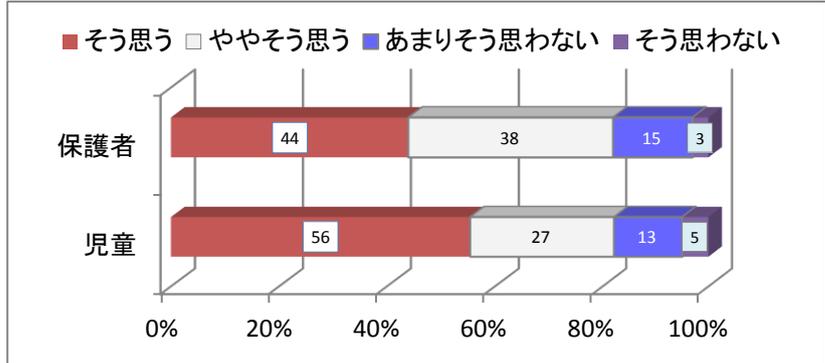
◆7【学校生活の楽しさについて】

- ・お子さんは学校に行くのを楽しみにしている。(保護者 回答)
- ・学校生活は楽しい。(児童回答)

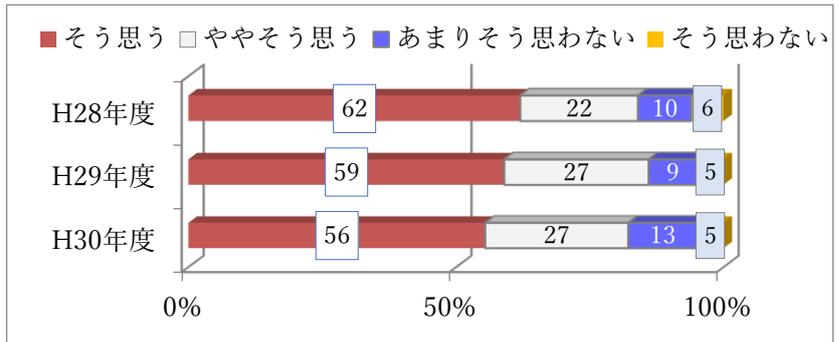


◆8【家庭学習について】

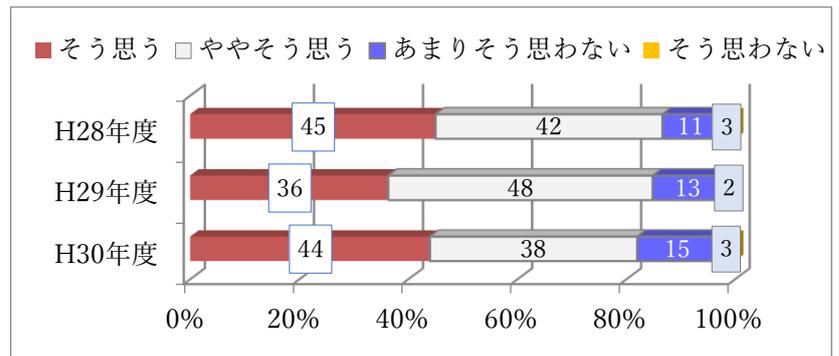
- ・お子さんは、宿題等家庭学習にしっかり取り組んでいる。(保護者 回答)
- ・(学年+1) × 10分の勉強をしている。(児童回答)



【児童回答】

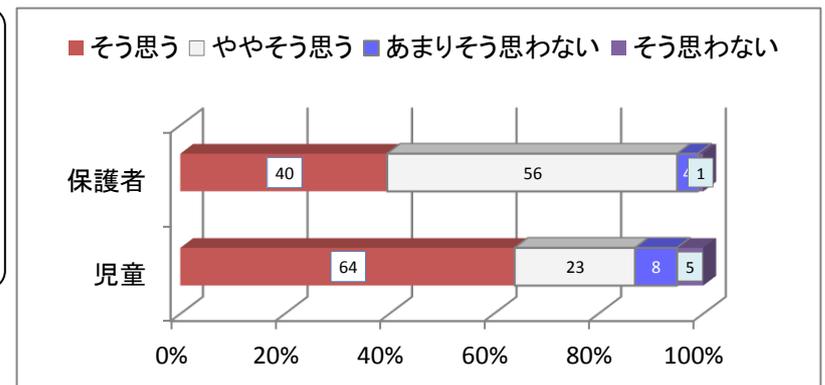


【保護者回答】



◆9【親子の会話について】

- ・お子さんの話に耳を傾け、お子さんとかかわる時間を持つようにしている。(保護者 回答)
- ・家の人とたくさん話すようにしている。(児童回答)



- アンケート結果では、9割の子供たち、保護者の方は、「学校は楽しい」「子供は学校へ行くのを楽しみにしている」と感じていることが分かりました。しかし、1割の保護者の方は、否定的に捉えていることもまた事実です。全ての子供たちが「学校は楽しい」と感じられるよう、学習指導や生徒指導の充実に努めてまいりたいと思います。
- アンケート結果では、8割の児童、保護者の方は、「宿題等家庭学習にしっかり取り組んでいる」と回答し、家庭学習の継続的な取組の成果が出てきており、着実な習慣化は図られてきていると感じます。しかし、2割の児童、保護者の方は、「あまりそう思わない」「そう思わない」と不十分であると回答しています。学校での現状として、宿題等の未提出者が固定化し、懸念される状況にあります。また、仙台市標準学力検査・生活状況調査の結果から、本校でも1日あたり2時間以上、テレビやDVD、YouTubeを見たり、ゲームをしたりしていると回答した児童が増えていることが明らかになっています。今後、家庭学習での学習時間を阻害しないよう、家庭でのルールを決めるなど、家庭学習に必要な環境の整備を図り、保護者の協力の下で家庭学習の充実にに向けて取り組む必要があると考えております。次年度は「情報モラル教室」等を新設し、子供たちと保護者の方が一緒に、「家庭のルール」や「使い過ぎの影響」を考え、学べる機会をつくりたいと考えております。
- 保護者の方から、自学の取組についてご意見をいただいております。教職員全体で、自学自習力の育成を目的として、宿題の出し方やその点検・評価の在り方について検討しております。家庭と連携して、学校が与える課題の内容や量について改善を図り、学習内容のさらなる定着、意欲の向上を図っていききたいと思います。
- 本校では、会議や行事精選・効率化を図り、子供と向き合う時間・環境の確保に努めております。しかし、なかなか個別指導の時間を設定することが難しい状況にあります。加えて、新学習指導要領に向けた教育課程の編成として、次年度以降、中・高学年での時間割を1コマ増設する方向で検討しています。さらに、昨今の不審者対策の観点から、11月以降、放課後学習後の一人歩きが心配なため、放課後の学習時間確保は難しい状況となっています。そこで、日照時間が長くなる3月の下校時刻を4時30分までと変更したいと思います。進級前に復習の時間を確保したいと思います。校庭も開放して、外遊びを推奨し、学力と体力づくりを進めてまいります。また、サマースクールの実施化、学生等の学習ボランティアの導入について引き続き検討してまいりたいと思います。学び難さを抱えているお子さんや家庭学習を身に付けたいお子さんは、保護者の方と連携して、個々に対応していききたいと思います。
- 「保護者の方々は、お子さんの話をよく聞いている方が多い」というアンケート結果となりました。お子さんの学校での様子、育ち等に関して、ご心配な点や要望等がございましたら、遠慮なく学校の方へお知らせ願います。

## ◆学習面、生活面 に関して

- ・毎日楽しく学校に行っているの、それが何より親としてはうれしく思います。
- ・担任の先生のきめ細かい子供たちへの指導に、いつも感謝しております。
- ・福祉教育に力を入れてほしいです。
- ・宿題の花丸を見て、次は植木鉢になるようにと頑張っています。「どうして今日は花丸だったのだろう?」「どうして二重丸だったのだろう?」と言って、ダメなところが分からないでいたので、次は、こういうところに気を付けようとか、改善点を教えてあげてもらえるとうれしいです。
- ・放課後に何か大切な活動をするときには、前もって連絡がほしいです。家が遠いので、一人帰りになると安全面が心配です。事前に分かっていたら、迎えにいくなど、対応ができるので。または、業間や昼休みにするなど、対応をよろしく願います。
- ・日頃から十分すぎるくらい、先生方にお世話になっております。お願いですが、クラスが違っても宿題や活動に差が出ないように、また、進級しても大きく方針が変わることのないようにしていただければ幸いです。
- ・宿題は毎日ではなく、週1回でも出ない日があったりすると、遊びや自習など自由にできるのではと思います。

- ・自学の取組ですが、進級して宿題に出なくなったりすると、意欲がなくなってしまうのが目に見えているため、これはずっと続けていただきたい取組です。
- ・自主勉強を頑張った子のノートを公開する取組は、励みになっているようです。本来は自分のために、自ら向き合うものですが、まだ始めたばかりなので、モチベーションにつながるので、続けてほしいです。
- ・いつもお世話になっております。毎日、下校前に友達と遊んで帰るのが楽しいせいか、帰宅がたまに遅くなる時もありますが、我が子がニコニコしている顔を見ると、よほど学校が楽しくて仕方がないのだなあと思っております。何をすることもマイペースな我が子ではありますが、「たくさん食べて身長大きくなる！」とか、「大きくなったら〇〇になる！」とか将来の夢など話し、前向きな所もありますので、今後ともよろしくお祈いします。また、地域の人間としても、子供たちも人とのかかわり合いのできるような活動をこれからも増やしてほしいです。
- ・集団行動が難しい子に「あいつはいつも先生に怒られている」「〇〇なんかおかしいやつだ」「あいつは気持ち悪い」という言葉が今年度になってから耳に入るようになってきました。「〇〇してみたかったんじゃない？」など、その子の気持ちを想像して、子供たちには話すようにしているが、悪いイメージが定着してしまっている子に対して、学校側としても、どのように対応しているのかなと思うことがあります。本人の過ごしやすさという点では、担任の先生以外にも他の先生とも共有して対応している様子はみられますが、他児がその子を悪く思わないような声掛けや取組があるのかなと思いました。
- ・毎日の宿題の量が多いように思います。平日に3つの宿題があると、なかなかほかのことができないので、宿題の量を考えてほしいです。
- ・宿題が多いけど、仙台市の学力検査では、泉松陵のあまり学力がよくないのが気になっています。中学や受験のときに差が出ないかと不安になります。子供たちも頑張っているし、学校の取組もいいと思っていますが・・・何が足りないのだろう。
- ・放課後、週に何日か残って勉強を教えてもらう時間をとってもらいたい。
- ・今、話題になっている性教育について、どのような授業を行っているのか気になります。赤ちゃんがどうやっておなかに入るのか聞かれて、答えに困ってしまいました。
- ・多くの人の前で自分の意見を話す機会をできる子ばかりでなく、できれば全員に回ってくるようにしていただけると、自信につながって成長できると思います。
- ・もしもできるなら、サマースクールや水泳教室は7月いっぱいあるといいなあとと思います。
- ・毎日忙しく、ゆっくり考え、発見する時間が学校の中にできているのかと思い、少人数の互いに声の届く環境があるとよいと思っています。
- ・学習面だけでなく、先生方からいろいろなことを学んでいるようです。今後もよろしくお祈いします。
- ・いつもお世話になっております。丁寧なご指導に感謝しております。
- ・いつもお世話になっております。毎日楽しく過ごしているようで安心しております。5年生になって、下校時間が遅くなる日も多いのですが、宿題や自主勉強に進んで取り組んでいます。学校で楽しいことがあると話してくれるのでうれしく思っております。これからもどうぞ、よろしくお祈いいたします。

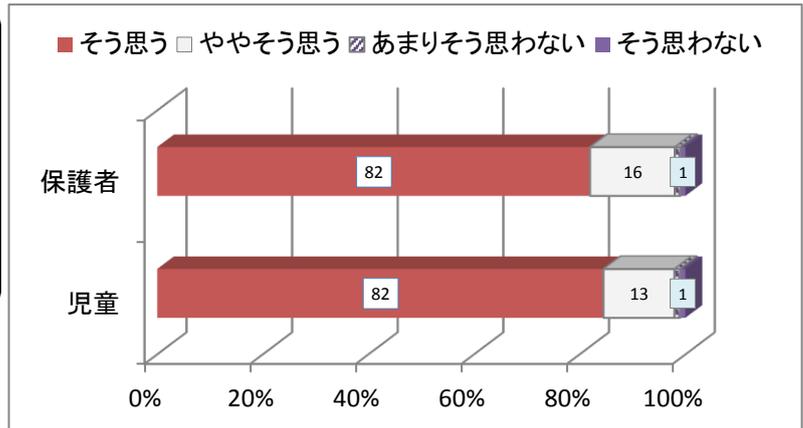
### 《学校関係者評価委員会の皆様からのご意見》

- 中学校も小学校と同じような問題を抱えている。東北大学川島隆太教授の講演では、「長時間のスマホやゲームの使用で、2時間以上の勉強効果が消えてしまうという恐ろしい研究結果が出ている」と、お話があった。特に、算数に影響が及ぼすのではないかと心配している。
- 小学校でもゲームやスマホ等へ、早くから危機感がある。小中連携で知恵を出し、PTAや家庭のルールづくりに注意喚起の必要がある。
- 小さい子もスマホ遊びに興じている。今や学校が、唯一の運動の場になってきている。
- 学校は注意喚起をするところで、ルールづくりやコントロールは、家庭が行うことではないだろうか。
- 子供はゲームやスマホを与えると静かになるため便利に使われている。しかし、時間感覚と感情のコントロールが育たない原因となっていないか心配である。
- 大人もバトルを繰り返すゲームを夢中でやっている。なんらかの規制は必要かもしれない。
- 子供の感情面が心配される。人間関係において、何らかの影響があるのではないか。
- 動画投稿サイトを利用して、人を写してのトラブルが心配される。課題も表面化している。

## ★ 学校行事等に関して【学校の分析と考察】

### ◆10【学校行事等について】

- ・お子さんは、学校行事（運動会・野外活動・学芸会等）や校外学習等、さまざまな教育活動の中で豊かな体験をしている。（保護者 回答）
- ・運動会、ふたば祭り、学芸会など、学校の行事では楽しく取り組んでいる。（児童回答）



- ほとんどの保護者、子供たちは肯定的回答（「そう思う」「ややそう思う」）を示しており、学校行事や校外学習等を通して、子供たちは豊かな体験、楽しい体験をしていると捉えていることが分かりました。
- 本校では、ふれあい講座をはじめ総合的な学習の時間等に、教職員以外の地域の方々や専門的な技術をお持ちの方々をゲストティーチャーとして多数招聘しております。地域の皆様のご支援・ご協力のおかげで、子供たちは豊かな体験をさせていただいておりますことに、改めて感謝申し上げます。
- 毎年、運動会の持ち方に対して、保護者の方から学校単独開催を望む要望が届いております。「お子さんが運動している姿を十分に観たい」という保護者のお気持ちは十分に理解できるところでありますが、仙台市の「杜の都の学校教育」では、「地域と共に歩む学校づくり」を最重要事項として掲げており、運動会は、それを具現化する大切な取組であると捉えております。子供たちにとっては、地域の皆様と交流できる大変貴重な場であり、また防犯等でお世話になっている地域の皆様に子供の成長の様子を見てもらう絶好の機会でもあります。次年度においても、体育振興会、連合町内会、PTA、学校の4者共催で行う方針で進めています。
- 地域総合防災訓練で、歩坂町の一時避難所が「永和台集会所」に変わり、ご心配をおかけして大変申し訳ありませんでした。地域代表との協議の中で、一時避難所が学校へ向かう方向と背反するため、歩く距離が長く、移動時間もかかるのではという懸念から今年度の提案が採用されました。次年度は本来の一時避難所を活用した訓練になるよう改善を申し入れたいと思います。児童や保護者、地域住民のニーズを把握し、連携・協力体制づくりに努めてまいります。
- 2020年より、新学習指導要領の全面実施となります。小学校における外国語が位置付けられ、外国語活動（3、4年）及び外国語（5、6年）の内容の一部を加えて必修と示されております。現状の時間割を1コマ増設することになります。よって授業時間の確保から、行事の精選についても、現在、内容等の見直しを検討しています。詳細が決まりましたらお知らせ致します。
- 土っと来いまつりについては、5月から方向性を検討してきました。今年度は会場を児童センターに移して大盛況でした。子供たちもとても楽しみにしている行事であることを地域の支援団体の皆様と再認識することができました。しかし、学芸会と同一日開催で、準備のため、学芸会を最後まで鑑賞することが難しいこと、支援者不足から一人一人の負担が増えていること、秋には週末ごとにイベントの開催が予定されていること、運営費となる仙台市PTA協議会からの支援金がなくなること等から、次年度は、開催を見送ることにしました。発足当初、学校休業日における子供たちの居場所づくり、小学校・PTA・地域諸団体が協働して支援する子育ての環境づくりについては、その目的は十分に果たせたと確認できました。また、これからも地域の支援団体と連携が図れるように、松陵っ子土っと来い事務局は、これまでどおり小学校に設置することになりました。イベント開催日には、支援団体が相互に連携していくことも確認しました。今後ともお子さんが、地域の一員として、各団体の主催行事に積極的に参加し、一緒に活動できるようにご支援のほど、よろしくお願いたします。

## ◆学校行事（運動会、学芸会、野外活動等）

- ・運動会は、地域と合同でも、しかも半日だったにも関わらず、子供たちの活躍の場面が多く、とても充実したものだと思います。最後のリレーでは先生方がとても盛り上げてくださり、とても楽しかったです。
- ・運動会について学区民と別にしてほしいというのが一番ですが、もしどうしても無理ならば、競技プログラム等の見直しをしてほしいです。競技種目に年齢制限をなくし、中学生などもっと若い人たちに参加してもらいたいと思います。高齢者だけでなく、中高生などの若い人が参加してもらいたいと思っています。
- ・運動会の種目で徒競走がなくなりリレーになり残念です。学区民と一緒にってから年々小学校ばかり種目変更してつまらなくなりました。
- ・学校の運動会与学区民運動会を別々にしてください。2学年ごとの演技は年子だと離れてしまって、どちらも見られません。地域の方も学区民の競技に出たいという声も多く聞きます。
- ・運動会や小学校交歓大会（サッカー）等に積極的に参加し、子供たちの体力向上にも力を入れてほしいと思います。
- ・今年度の地域防災訓練で歩坂町の一時避難所が今回から突然「永和台集会所」に変わり、混乱しました。歩坂町児童は、ほとんどが永和台集会所に行ったことがなく、道路も歩道がなく危険な通学路です。児童の家は多数が歩坂町中央公園の周辺、もしくは通過するので、ここが一番適した場所だと思います。学校で配布された「防災アクションカード」でもそのように教えていますので、昨年度までと同様の一時避難場所に戻してもらえようようお願い致します。
- ・土っと来いまつりとふたばまつりを同日に開催することはできないでしょうか。学芸会、土っと来いまつり、市民センターまつりと忙しいと思います。
- ・なわとび大会をしてほしい。
- ・懇談会で一言お願いします。強制がなければ出席するのに、ずっと思っています。これがあるかぎり、どんなに大切な時期の懇談会でも出席する気はないです。言いたい人だけでいいのではないのでしょうか。
- ・学芸会など、6年生にとっては小学校生活最後の行事なので、ピアノ伴奏など、納得のいく形で決めてほしいかったです。
- ・陸上記録会で、ユニフォームの下にはくスパッツの丈が、中にはく丈で買った後で、長いものでもよかったと聞き、他行事でもですが、前年度はこうしていた子もいたとの情報が少しでも入れてほしいです。買うのは保護者側なので。

## 《学校関係者評価委員会の皆様からのご意見》

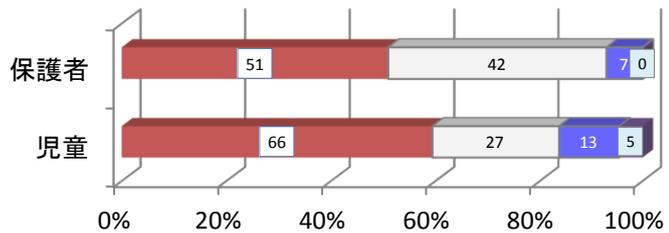
- ほとんどの保護者、子供たちは肯定的回答が多く、学校の取組は間違いない。よく取り組まれていると思う。
- 運動会については、目的が明確でとてもよい取組だと思うが、一部反対の意見が出ている。地域の住民の一人としては、学区民、学校単独開催を隔年で行っても構わないと思っている。学校の教育活動に支障がないように進めてもらって構わない。学校の取組を尊重したい。
- 学校は「地域と共に歩む学校づくり」を最重要事項として掲げ、運動会はそれを具現化する大切な取組であると捉えている。

## ★ 友達関係・いじめに関して【学校の分析と考察】

### ◆11【 友達関係 について 】

- ・お子さんは、よりよい友達関係を築いている。(保護者 回答)
- ・私は、まわりの友達と仲良く過ごしている。(児童回答)

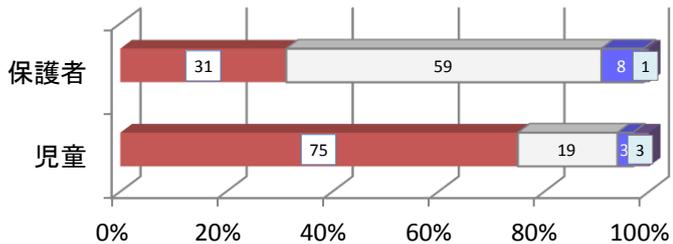
■ そう思う □ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



### ◆12【 いじめについて 】

- ・学校では、いじめに関する取組を適切に行っている。(保護者 回答)
- ・学校の先生は、いじめ等、困ったときに話を聞いてくれる。(児童回答)

■ そう思う □ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



- アンケート結果では、9割の子供たち、保護者の方は、「まわりの友達と仲良く過ごしている」「よりよい友達関係を築いている」という肯定的な見方をしています。1割弱の保護者の方は交友関係に不安を抱いていることが分かりました。
- 「学校では、いじめに関する取組を適切に行っていますか」という問いに対して、昨年度は「そう思う」と回答された方は28%、「ややそう思う」と答えた方は56%に留まり、残り15%はまだ不十分であると回答でした。今年度は、9割の保護者の方が「そう思う」「ややそう思う」と回答があり、学校の取組を評価していただきました。いじめ対応に関しては、仙台市教育委員会の最重要課題でもあり、保護者の方が、安心してお子さんを学校へ送り出せるよう、いじめの未然防止と早期発見、早期対応に努めてまいります。そのため校内の組織的な対応と適切な事実確認を行い、保護者の方と情報の共有化を図り、適切な対応を図ってまいります。今年度は教職員の資質能力を高めるために、教育委員会のご支援により、弁護士を招聘してスクールロイヤー研修を実施しました。いじめ事案の解決には、学校・家庭・地域が連携した対応が必要になります。ご家庭への連絡・相談の機会が増えますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。
- いじめの未然防止の取組として、異年齢交流（小中連携、幼小連携、地域交流含む）の機会を設定し、人とかかわる心地よさ、人間関係づくりを推進していきます。また、道徳教育、普段の教科指導の中で、生命や人権尊重に重点を置き、「いじめを生まない学校風土の醸成」を目指していきます。
- いじめの定義については、まだまだ共通認識に至っていない面が見受けられます。いじめ防止対策推進法の第2条では、「いじめ」とは、『児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。』と定義付けされています。本校のホームページにおいて、「泉松陵小学校いじめ防止基本方針」を示しているのです、ご覧ください。

#### ◆友達関係、いじめに関して

- ・子供からの話で、隣のクラスのいじめ？まではいかななくても、〇〇ちゃんグループが他の子にキツイ言い方をしているという話をよく聞きます。休み時間の子供たちの関係なども見守っていただけると安心と思います。
- ・今年度に入って間もない頃、子供がお友達から仲間はずれにされたことがきっかけで学校に行きたくないと訴え、相談させていただきました。急なお願いだったにもかかわらず、すぐにお話する時間を設けていただき、ありがとうございました。校外での出来事も含めての相談になりましたが、先生に気に掛けていただいたおかげで、あっという間に解決し、子供にも笑顔が戻りました。今に至るまで、毎日楽しくとうこうできているのは先生のおかげです。本当にありがとうございます。
- ・子供が友達関係で困っている時、悩んでいる時は、担任の先生やスクールカウンセラーの先生に話を聞いていただき、「子供が悩みを話せる場」があることにありがたく思っています。子供の話聞いてもらうことで、少しすっきりした様子はあるものの問題そのものが解決している訳ではないので、子供が我慢した状態で時がたつだけで、家族は子供の話を聞いてあげ、見守ることしかできない事しかできない不安な日々を過ごすことが多いです。学校では誰しもが一度は体験すること、子供によっては気にしない子もいれば、大変辛く感じる子いると思います。「子供の悩みを聞いてあげる」という次のステップを「問題解決を学校でも対応していただきたいと思っています。先生方の忙しさを考えれば、さらに忙しくさせてしまうかもしれませんが、子供には毎日楽しく学校へ通ってもらいたいです。よろしく願いいたします。
- ・お友達同士の名前の呼ばれ方で、名字の呼び捨てがなかなか改善されず、残念です。せっかく「一人一人親からもらった大切な名前なのだから」と先生が教えてくださっているのだから、聞き入れてほしいと思います。
- ・本当にいじめはないのかが疑問です。というのもその子の感受性でかわるからです。「〇〇さんから～と言われて嫌な気持ちになったなど、たまに言うてくることがありますが、アンケートのときには何も言っていないませんでした。体型のことなどからかわれていないか心配です。本人も言われても気にしていないようなので、今はいいですが……。いじめについてどのように指導なさっているのか気になります。
- ・子供が学校に行きたくないというときも、先生が気に掛けてくださりありがとうございます。先生に気に掛けていただき、学校にいきこうという気持ちになれました。ありがとうございました。
- ・いつも大変お世話になっております。よい友達に恵まれ、毎日楽しく通っています。けがしたときも友達にいろいろと手伝ってもらって本当にありがたいです。

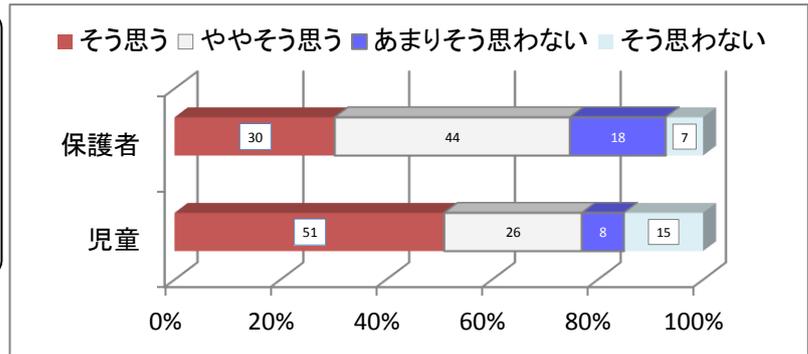
#### 《学校関係者評価委員会の皆様からのご意見》

- 寺岡小学校の件が心配される。寺岡地区は、学校・家庭・地域と連携した取組をしているモデル地区だっただけに、どうしてあんなことになったのか。今やどこでも、いじめ問題が起こる可能性がある。地域が、学校と家庭をどう支えていくか考えていきたい。これからますます学校・家庭・地域の連携が必要であると感じている。
- 「学校の先生は、いじめ等、困ったときに話を聞いてくれる」という質問に対して、児童の3%は「そう思わない」と回答しているが、学校では、どんな取組をしているのか。
- 学校では、独自に校内アンケートを実施して、SOSを発信できる機会を設定している。仙台市教育委員会でも家庭と連携してアンケートを実施するなど、不安や悩みを抱え込まないように、大人が子供に目を向け、耳を傾けられるような取組を積み重ねている。担任に話しにくいことは、ほかの大人（ほかの教職員や保護者、地域の方を含む）が聞き手となって子供に寄り添うことが大切である。
- 小学校において、対教師暴力は存在するのか。
- 本校ではない。落ち着いて授業が進められている。市内では残念ながら存在する。

## ★ PTA 活動，地域での活動に関して【学校の分析と考察】

### ◆13【地域活動，PTA について】

- ・学校・子ども会・地域の行事等に積極的に参加し，保護者同士のつながりを深めている。(保護者 回答)
- ・地域の行事や子ども会の行事にはすすんで参加している。(児童回答)



- PTA活動や行事について，特段のご意見はありませんでした。これまでの教育活動へのご支援・ご協力に感謝申し上げます。
- 校舎の清掃活動へのご提案ありがとうございます。教職員へのお心遣いに感謝申し上げます。PTA運営委員会等で話題にしていきたいと思えます。
- 子ども会や校区育成会の役員選出や役割について，以下のとおり様々なご意見が寄せられました。学校は，諸会議の中で，学校・家庭・地域が連携して，子供の学びを支えるための組織・運営について，情報交換する機会が必要と思われまます。具体策のご提案があれば，校長・教頭までお申し出願います。

### ◆PTA 活動，地域での活動に関して

- ・校区育成会の役員について，昨年の意見にあったように子供会からではなく，学校の役員として選出してほしいです。もう一度，どのくらい家庭が子供会に加入しているかも把握した上で判断してほしいです。誰でも参加できる校区育成会の活動なので，子供会とは別にすべきだと思います。すでにそのようにしている小学校もあるようなので，検討をお願い致します。校区育成会は泉区にしかないようなので，廃止して違う形でもいいとも思います。
- ・地域と小学生が関わる行事（夏祭り，センターまつり等）では，子供会から校区育成会の役員がでていますが，子供会に加入しない家庭が大半を占めている現状を考えると，校区育成会は小学校PTAに属させた方がいいのではないのでしょうか。
- ・毎週持ち帰る上靴が真っ黒です。子供たちだけでは人数が少ないから広い校舎の掃除が大変なのかなあと思う時があります。親が奉仕活動として掃除のお手伝いをする日があるのもよいかと思います。(先生方の負担にならないと思いますが・・・)
- ・子供会に入会しない児童が多くなってきていますが，校区育成会で行う事業は，泉松陵校区のすべての児童が対象になっており，校区役員は，各子供会に入っている保護者が担当しています。共催の行事も多いので，泉松陵小の保護者の方で子供会に入っていない方もお手伝いをしていただいてもよいのではないかと思います。

### ◆学びの連携，地域連携に関して（防犯等）

- ・登校時，地域の方や先生方が交差点で見守ってくれるので安心です。ありがとうございます。
- ・学校までの距離があるので，登下校が心配でしたが，学校ボランティア防犯巡視員の方々に毎日，お世話になり助かっております。地域全体で子供たちを見守ってくれている感じがしています。
- ・校門前や通学路での先生方の朝の見守り活動ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。
- ・朝の旗振りをしていると，歩道と車道ギリギリのところまで信号待ちをしようとしたり，信号が青になる前に渡りはじめようとしたりするお子さんがいて，誰もが立っていない時，事故に巻き込まれないか心配です。朝は交通量が多い上にスピードを出す車が多いので危険です。特に低学年の子が多いので，学校でも安全について指導していただけるとありがたいです。
- ・地域との関係が多く，ありがたいと思っています。学年問わずの交流もあり，よいと思います。

#### ◆その他

- ・いつもお世話様です。学校だよりや学級だよりで日頃の様子をお知らせいただき、ありがとうございます。
- ・ホームページで学校の情報がたくさん発信していただけるのありがたいです。台風の後なども、いろいろな場所の安全確認していただけることが分かりました。いつもありがとうございます。
- ・先生方が生き生きした学校であれば、子供たちは安心して生活できると思うので、先生方が働きやすい学校づくりを進めてください。
- ・担任の先生のきめ細かい子供への指導にいつも感謝しております。
- ・毎日楽しく学校に行っているの、細かいことはさておき、本当によいこと（うれしいこと）だと思っています。
- ・泉松陵小学校になってから、小学校そして松陵中学校との連携及び一貫教育がより強化されるものと期待しておりました。しかしながら、学力はさほど向上しない様子で、高校（特に公立校）への進学入数は、以前と変わらない気がします。また、生徒の日常生活、部活動においてもほぼ変化がないように見られ、いじめについても大きな問題にならないものの日常的に何らかの問題があるように聞いています。これらは中学生だけの問題ではなく、そもそも同じ学年である＝中学校卒業までは一緒に学校生活を送るという意味になりますから、小学校入学とともにきちんと子供たちにも理解してもらう必要があると考えます。また、学力にしても、1年生の頃からしっかり教えていただき、全員が同じ理解の下、進んでいただきたいと思います。小学校での学習・生活態度、その他が、その後につながりますから先生方にもご理解・ご協力いただければと思います。
- ・毎月の集金はなんとかならないのでしょうか。細かく集金されるのがとても面倒です。
- ・「置き勉」の対策はされないのか？ランドセルが重くて肩こりが気になります。
- ・4年生になってから、Switchのオンラインゲームで仲間外れなどがあり、気持ちの落ち込みがあることもある。終わりのないオンラインゲームは、家庭でルールを決めて、約束が守られず悩み所である。このことは、本人も気にしていることなので、表に出してほしいとは思っていないが、同じ泉区内の小学校では、オンラインゲームなどのルールがあると聞いている。  
泉松陵小学校で、オンラインゲーム、SNS、YouTubeなど、ある一定のルール化をしてほしい。
- ・泉松陵小学校ならではの活動があるとよいと思います。（茶道、華道、吹奏楽等）
- ・帰宅時間が遅いので、授業が終わったら早く帰らせてほしい。宿題や習い事があるため時間がないので。

○教材費や学習活動費の集金については、ご面倒をおかけして大変申し訳ありません。教職員にとっても、児童数分の集金額の確認や出入金等の事務時間に時間を割いている現状です。また、購入品全てが外税であることや、校外学習のバス利用時には頭割りのため端数処理が発生します。集金袋からの硬貨の落下や高額集金による紛失など、リスクを伴うため慎重な取り扱いが求められています。さらに、提出忘れや滞納などへの対応、転出への払い戻し対応等、事務処理に追われている現状です。保護者の方も教職員ともに課題を感じていることから、校納金の集金方法について検討させていただきました。PTA運営委員会等でも協議した結果、次年度から、PTA会費と教材費の校納金を、現在の仙台銀行からの口座引き落としで、集金させていただきたいと思います。校外学習等の交通費等、一部の臨時集金は、集金袋を活用して行いますが、負担軽減と紛失の危険性が回避されることから、集金方法を変更します。詳細は、PTA総会でお示ししますので、ご理解・ご協力のほどお願いいたします。

○「置き勉」の対策については、すでに個人ロッカーを活用して、学校で教材や副読本等を管理しております。また、週末や長期休業前に、持ち帰る荷物が重ならないように段階的・計画的に持ち帰りを行っております。主要教科の教科書やノートは常に持ち帰り、予習・復習に活用させたいと考えております。体の成長段階もありますので、体への痛みがご心配な時には、担任までご相談願います。

## 《学校関係者評価委員会の皆様からのご意見》

- 授業参観から、学校はやるべきことを、やっている。保護者は自分の役割を果たしているだろうか？保護者は、全てのことを学校に委ね過ぎている。親にとって子供は、一対一対応で可能であるが、担任一人に対して児童数に限界がある。学力の育成にしても生徒指導にしても、学校への要望ばかりで、本来の家庭の役割、保護者の努力が問われていない。家でやるべきことはないのか？という視点をもっと持つべきである。学校と家庭で連携すべきことをもう一度考えてもらいたい。
- 前回（第2回）の学校関係者評価委員会の協議事項が、学校だよりとして、地域に回覧された。地域、保護者はもっと学校だよりをよく読んでほしい。学校の取組がよく分かる。そして、子育てに、よく役立ててもらいたい。学校だよりで取組を伝えるのは、とても有効だと思った。
- お母さんに余裕がなくなってきた。全てがお母さんにかかっている。子育てに助けとなる人がいないのも現実である。そんな現状で、自分の目で確かめずに、子供の目を通して学校を見ると、現実とズレが生じる。子供の言っていることを全て鵜呑みにすると、とても危険である。保護者は、学校にも地域にもかかわりを持てる唯一の存在であり、重要な役割がある。お互いに補い合えるように事業の見直しをしていく必要がある。子ども会や校区育成会については、保護者自身が検討委員会を設けて、課題を協議する必要がある。地域としても相談に応じたいと思う。
- 子ども会や町内会の役員になり手がいない。時代の流れは十分に理解できる。役員になると、プラスになることが多い。役員になって、初めて気づきことがあり、自分がどう子育てしていけばよいか考えるよい機会となる。ママ友も増えて、相談できる仲間やつながりが増える。気になることを声掛けし、褒め合うことで子育てに役立つことがたくさんある。また、親の学校や地域での取り組む姿を見て、子供は育つ。子供は地域の財産であることから、地域としても支えていきたい。有形無形の両方面で大切にしていきたい。
- 学力について、心配なざる保護者の気持ちは理解できるが、学力と公立校への進学数は必ずしも一致しない。私立学校でも教育環境が整って、優れた実績を残している。あえて私立高校を選択し、推薦入試を希望する生徒もいる。進路選択にあたっては、その子にあった学びの場を選んでよいと考える。
- 同感である。学力の向上は学校だけの問題ではない。学校と家庭が連携して取り組むべきことである。
- 「置き勉」の対策として、長期休業明けもぜひ、検討していただきたい。両手に荷物、首にまでさげて荷物を一度に持ち運ばせることはない。学校も家庭も適量を考えるとよいのではないか。
- 今年から、自転車利用の際にヘルメットが義務化されているが、学校としてはどのような対応を検討しているのか。
- 小学校では、次年度も、地域と連携した交通安全教室を実施していく予定である。中学年は、校庭で自転車教室を行う予定である。ヘルメットの着用については、先日、広報紙を配付し、啓蒙活動に取り組んでいる。保険加入については、毎年、PTA総会で、仙台市PTA協議会の提携する任意保険の推奨を行っている。4月より加入義務化のため、更なる広報に努めたい。

